

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市金剛沢児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 15,375人(前年度比 114.7%) ・令和3年度 13,407人 ・令和2年度 14,025人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 43,916千円 (46,263千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「職員における虐待等の不適切な行為に対する対応について」を作成し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。	19/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>今年度も「みんなのえがお輪和笑」をキャッチフレーズとし、子どもたちをまん中にということを常に意識して様々な活動を展開してきました。また、希薄になりつつある地域との繋がりを少しずつ再開してきた1年でした。</p> <p><b>児童健全育成事業</b>            中高生の自由来館が急激に増加。3年ぶりに彼らを対象にしたこ焼きパーティを実施しました。そこに児童クラブ児童も参加し、それ以降一緒に遊戯室で遊ぶようになり異年齢交流に繋がりました。</p> <p><b>子育て家庭支援事業</b>            児童館発信の活動の他子育て支援クラブの活動も開催され、多種多様な内容で行いました。親子で楽しむだけでなく、保護者がほっとできるような活動も実施しました。通常自由来館数が少ないという課題はありますが、リピーターを増やしていきたいと思えます。</p> <p><b>地域交流推進事業</b>            地域で活動している団体とともにした活動を行いました。公園の環境美化活動に子どもたちと参加し地域の一員であるという心を育みました。また、近隣の方が定期的にお花を活けて届けてくださり、子どもたちと楽しむことができました。恒例の小さな芸術祭には子どもたちが書いた招待状を地域の方、小学校の先生方にお届けし子どもたちの頑張りをみて頂きました。</p> <p><b>放課後児童健全育成事業</b>            工作、塗り絵、ボードゲーム等、静の遊び、遊戯室、公園等、動の遊びとメリハリのある遊びを行いました。また、本館とサテライトの利用学年の違いを考慮した活動を実施しました。子どもたちがやりたいことを実現するため子どもたちが企画書を作成し、計画・準備・実行することができました。高学年には様々な場面で役割を持たせ、リーダーシップが取れるよう配慮しました。恐竜山や三神峯公園へのピクニック、当団体主催のSDGsフェスティバルへ交通機関を使って参加する等多くのことが体験できた1年でした。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、「つぼみの会」を月1回開催して、子どもの発達に悩みを持つ保護者が相談したり、情報共有や意見交換をしながら交流ができるよう支援している。中高生世代が利用できる「中高生タイム」を土曜日の午後と平日の夕方に実施した。近隣の公園で遊んでいる中高生に、児童館職員が声を掛けることで利用できることを知り継続利用に繋がったケースもある等、積極的に児童館認知向上に取り組んでいる。来館した中高生の声を受けて行事を開催し、行事を通して小学生との異年齢交流に繋げる等、地域の中における居場所作りに努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、幼児クラブを登録制で実施し、親子遊びや集団遊びを行いながら、子育ての情報交換の場や親子の仲間作りの場となるよう支援している。月1回実施の「はればれ組」では、自宅に持ち帰って遊べる工作や季節のイベント等を実施したり、「ママのリフレッシュタイム」ではハーバリウム作りを提供する等、保護者が子育ての楽しさを感じたりホッとできる場を提供している。</p> <p>地域交流推進事業においては、近隣の公園の清掃活動に月2回参加して、子ども達が地域の方と交流しながら、環境浄化活動や自分達が住む地域へ興味関心が持てるよう支援した。恒例となっている「小さな芸術祭」では、お世話になっている地域の方へ子ども達が手作りの招待状を届けた。当日は多くの方が参加し、児童館事業の認知向上と児童の成長を共有できる機会となった。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、やりたいことの企画書を子どもが作成し、その企画書から「夏祭り」や「小さな芸術祭」「クリスマス会」等を開催した。日常の遊びにおいても、子どもの意見を生かしてコーナーを設置する等、子どもの意見を遊びや生活にの反映させる支援を行い、自己有用感や自主性、社会性を育てている。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課